

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月18日更新

事務事業名		認定農業者協議会助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	齋藤 和広
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目	会計一般	款6	項1	目5	事業連番10285	根拠法令	合志市補助金等交付規則		成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市認定農業者協議会の活動に対して助成を行い、事務局として運営に参加する。国による認定農家制度が導入され、認定農業者の組織化を推進し、積極的な活動を図るため、開始された対象者(会員)、法令等は5年前と比べ、大きい変化はないが、助成額は減少している
【業務の流れ】	協議会からの事業計画承認申請受付、内容審査、内示、補助金交付申請書受付、決定通知、概算支払い、事業完了報告、額の確定、総会及び役員会の開催、研修会等の企画実施
【主な予算費目】	職員手当等、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特別な意見はない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	全体研修、部会別研修、役員研修、全国大会への参加、意見交換会、中学生農業体験受入	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		協議会からの事業申請受付から補助金確定までの一連事務事務局としての運営補助
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 役員会回数	回	
→ イ: 研修会回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
合志市認定農業者協議会		→ ア: 会員数
		→ イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
学習会や研修等の実施及び情報交換等の活動を行う。		→ ア: 協議会の活動件数
		→ イ: 学習会・研修会参加者の割合
		%
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
認定農業者協議会で市の補助を受けており、活動に対する補助であることから活動や研修会参加の数値とする。協議会での事業計画		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	回	8	9	6	3	6	6	6	6
	イ	回	16	10	6	5	6	6	6	6
② 対象指標	ア	人	173	168	179	167	179	179	179	179
	イ									
③ 成果指標	ア	件	11	9	8	7	8	8	8	8
	イ	%	30.5	30	40	30	40	40	40	40
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	642	666	672	667	672	724	
		(A) 事業費計	千円	642	666	672	667	672	724	0
		(A)のうち指定経費	千円	42	66	72	67	72	55	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	42	66	72	67	72	124	0
		正規職員従事人数	人	8	8	8	5	8	8	0
	延べ業務時間	時間	1,190	1,088	1,000	510	1,000	1,000	0	
	(B) 人件費計	千円	4,740	4,039	3,984	0	3,984	3,984	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,382	4,705	4,656	667	4,656	4,708	0	

事務事業名	認定農業者協議会助成事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 会議、研修会等の活動回数は十分に目標達成したものの、参加人数割合は各研修会によって大きな差があり、平均参加割合では達成に至らなかった。また会員数は高齢による認定再更新率の低下などにより達成できなかった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 研修内容や開催時期などを見直し、目標を達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 研修内容、開催時期などを見直しにより、研修会等への参加人数の増加を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 認定農業者制度に代わるものがない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 農家間の情報連絡の徹底により、案内作業を効率化できる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 農家間の情報連絡の徹底により、案内作業を効率化できる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 研修機会、情報提供等は全会員に行っており、協議会活動費の一部は全会員からの会費により実施している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 認定農業者の協議会であり、会員から役員は選出。市は事務局を担当。

3 評価結果の総括 (CHECK)

計画した学習会や研修会は予定どおり達成した。参加人数割合は研修内容、開催時期など再考して達成を目指す。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策